

10周年を記念し、5つの記念事業を計画いたしました。先ほどのスライドで紹介させていただきました「三浦克次と市民によるチャリティーコンサート」を開催し、「青少年育成標語塔」をきれいに補修させていただきました。これから行なわれます、3つの記念事業をご紹介します。最初に、様々な重い障害を持つ人達が、それぞれの能力にあった、生活実習、作業訓練を、仲間達と一緒に言ったり、家族以外の多くの人とかかわったりしながら、生き生きとした、より豊かな毎日を送れるように願って作られました施設「らいふ・すていしょん」に50万円を寄付させていただきます。つぎに、三条市在住の知的発達遅滞者で、一般の就労が困難な人に対し、障害の特性に応じた、作業指導、作業訓練を行ない、働くことへの意欲を図ることを目的に作られた施設、三条福祉作業所「すてっぷハウス」に50万円を寄贈させていただきます。最後に、我が三条北ロータリークラブ、10年の歩みの中で、様々な場面において、多大なるご協力をいただき、地域の皆さんに20年もの間、数えきれないほどの音楽奉仕活動をされ、本年度20周年を迎えられました「三条市吹奏楽団」に事業のお役に立てていただきたいと、感謝の意を込め50万円を寄贈いたします。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

- 5月21日例会： 通常例会 クラブフォーラム 地区協議会報告会
5月28日例会： 通常例会 会員卓話 柄沢憲司会員 ロータリー情報ワンポイントスピーチ
6月4日例会： 通常例会 クラブアッセンブリー
6月11日例会： 通常例会 家庭会合報告会
6月18日例会： 通常例会 味方会長「本年度を振り返って」
6月28日例会： 会長幹事慰労会



三条北ロータリークラブ週報

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

例会日
1996. 5 . 14
累計 No 463
当年 No 43

国際ロータリー会長 ハーバード・G・ブラウン 第2560地区ガバナー 重田政信

会長／味方義一
幹事／木宮 隆
SAA／稲田憲治

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 卓話「4.14感謝の集いを終わって」丸山誠一会員

出席： 本日の出席 59名中41名

先々週の出席率 59名中44名 74.58%（前年同期83.33%）

先週のメークアップ： 5月8日 三条RCへ 吉川吉彦さん

9日 燕RCへ 小林 満さん、高橋彰雄さん

13日 三条南RCへ 吉川吉彦さん、梨本清一さん、梨木建夫さん

ビジター： 三条RCより 五十嵐総一さん、細井増雄さん

三条南RCより 鈴木圀彦さん、韭沢喜一郎さん

会長挨拶： 味方義一

今日は八幡宮の宵宮。明日は神明宮の宵宮。そして八幡様の御巡行、神明様のみこし巡行と。三条まつりは晴天が続くようです。ところで相も変わらず酒にまつわる話で申し訳ありませんが、たまたま本棚で見つけた古い本ですが、「梅干と日本刀」の中よりご紹介します。酒と神は深い関係がある、おまつりには酒はつきもの、魂の再生産のために酒をのんだ……。「それでは今日はこれまでにして一杯やりましょうか」とか「そのうち一緒にしましょう」日本人はこれが大好きである。日本人は何かにつけて「一杯やる」ことを少しも不自然とも好奇とも思っていない。神様の祭りがあると「神餅」というものを供える。魚、米、野菜、塩米、そして酒。お祭りが終ると「ナオライ」という行為が行われる。その意味は神と人との姿を変えてそこで融合する行為をいう。祭りのときは神は向うにあって直会になると神が人の方に降りてくる。そこで人と神が合流する。それを「神人合一」といった。これをやると正式に祭りが終る。直会というのはお供えしたものを人々が神と一緒にのんだり、食べたりすることである。この一連の行為が日本人の連帯意識、共同意識の確認行為なのである。神にお神酒をあげて、人間も飲む、すると気持ちが愉快になったりはしゃいだりする。これを古代の発想では「宴」えらぎといって心が浮きたつことをいう。

じつは酒という言葉の語源も心が栄えるから「栄」（さけ）で元氣よく発動する。生き生きと動

き出すことを指している。酒を飲むと気持が良くなる。中にはあばれだす人もいるが、だいたい浮き浮きしてくる。その状態を古代人は「酒を通じて神が人の中に入って来た」状態だと考え神がかりの一種と思った。その結果人間の欲望とか、名誉心などでゆがんだ精神が洗い直され、自然な状態にかえると考えた。これは魂の再生産である。したがって日本人が酒を飲む目的は神がかって自然な心に帰るためであった。自然の心、神の精神を自分の体にうけて飲む。日本の「神」というものはいつも純潔で楽しくて明るいばかりである。日本の神には神意にそむくとタタル神はあるが、本質的には悪神はひとりもいなくて、すべて人間を幸せに楽しく明るくしてくれる。そういう意味ではひじょうに気楽な信仰である。

そして同じように飲み、同じように楽しみ、同じ物を食べ合った、ということが神を媒体にして魂を共通に持ち合ったという同族意識の確認行為であり、日本の祭りの意義であり、日本の祭典である。「一杯どうですか」というのは、じつは一緒にうきうきと神がかって魂をわかち合い意識を共有しようということであり、一度ご一緒しようというのは連体意識を確認したいという、じつに日本人らしい無意識的な願望の表れである。日本古代からの信仰、つまり共食信仰があったからだ。チョット口をつけるだけでも共に飲んだということがあればいいのである。酒の強い人もいれば弱い人もいる、あるがままに自然であることによって心が浮く、それが神がかりであって、魂が再生産される、それと認め合うことで連帯意識を確認する。丁度今日は三条まつりの宵宮です。今晚ご一緒しませんか……。

幹 事 報 告： 木宮幹事

・1996～97 新潟県会長・幹事会開催のご案内

日 時 1996年7月21日（日）

会 場 中条グランドホテル

ニコニコボックス： 14日現在累計 1,093,576円

今井克義君 加藤さんのお嬢さんから新婚旅行のお土産の酒をいただきました。今夜も又、神様（あそん）と遊べます。

吉川吉彦君 本日の卓話丸山さんごくろうさまです。梨木さん退院され、よかったですね。

稲田憲治君 感謝の集いを終ってホッとするやら、さみしいやら、丸山さん卓話楽しみです

本間建雄美君 丸山誠一君の卓話御苦労様です

丸山誠一君 今日は私の卓話です。たいへん心配です。みたくもない梨木さんの元気な顔をみて元気がでました。

梨木建夫君 丸山誠一さんの卓話を聞きたくて病院を抜け出してきました。

馬場直次郎君 丸山さんの卓話楽しみにしています。

早川瀧雄君 梨木さん退院おめでとうございます。丸山さんの卓話楽しみにしております。

これは環境保全委員会のアイデアで実現した、通称「八十里越え」です。三条から福島までのルートを走破しました。「道なき道、という感じですネ」「けもの道みたいなうえに、当日は暑く、汗びっしょり、／＼」たいへんきつい道のりでした。山での昼食、みんなと食べた昼食、うまかったなあ、／＼ このときの「とん汁」の味はピカーだったそうです。

ここで記念事業のうち、2つをご紹介します。これは今年の1月23日に中央公民館で行なわれました。10周年記念コンサートです。「どんなタイトルで行なわれましたか」一人でも多くの市民に、歌う楽しさを伝えたい「三浦克次と市民によるチャリティコンサート」というタイトルで、なお三浦さんは、地元出身で、大活躍中のオペラ歌手です。三条少年少女合唱団にも出演していただきました。三浦さんとの男性合唱に、我が北ロータリー、スーパー合唱団も特別参加いたしました。

そして、もう一つの事業、この塔は創立時、燕三条駅前に記念として、青少年健全育成標語塔を三条県に寄贈いたしました。10周年をむかえ、きれいに補修させていただきました。ここで、当クラブを支えてこられた初代より9代までの会長をご紹介します。中條耕二初代会長、樋口金占2代会長、梨本清一3代会長、平松利朗4代会長、今井克義5代会長、山上茂夫6代会長、高橋彰雄7代会長、羽賀一夫8代会長、大野新吉9代会長 以上9代までの会長をご紹介します。それでは、最後に「グットくだけで」北ロータリークラブの本心を「チョットだけ」紹介しておきましょう。我がクラブのクリスマスパーティーでの1コマです。子供達とサンタさんの入場の場面です。「お似合いのサンタさんは、どなたですか、／＼」海外出張の多い山口会員です。翌年は、ローマ法王にふんしました。

会員ファミリーの席に、大竹会員のご夫妻による、サンタさんから子供達に、うれしいクリスマスプレゼントです。「キス…してますよネ」パーティの中で、会員がご自分の奥様に、プロポーズの言葉をインタビューして、奥様のご発表のあと、やさしくキスをするゲームです。これは、ほほ笑ましい石川会員ご夫妻です。「こちらのご夫妻は、ドナタですか、／＼」いつもこんな感じの、昨年度会長大野ご夫妻です。「これもパーティでの1コマ？」奥様の腕の中で、哺乳ビンに入れたジュースを飲みほすゲームです。「岡田さん、感想を一言、／＼」「ワァッ、／＼ このお二人は……、／＼ なんてかわいいの？」「北ロータリークラブの雰囲気、十分伝わってきましたヨ」こんなことを、色々してまいりましたが、「4つのテスト」「奉仕の理想」にのっとり、まじめに着々と活動しております。

こんなに楽しくて、意思疎通の取れたクラブは、おこがましいですが、どこのクラブにも、負けないと思っております。連帯感とジェネレーションをこえた、強い友情のきずなのもとにつちかわれた当クラブは、ここまで成長いたしました。本当の意気込みと、皆様のあたたかいご支援、励ましにより、本日、おかげさまで10周年を迎えることができました。「皆様、本当にありがとうございます」